



大阪YWCA

12/1
2022/2023

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

アフガニスタンは今 特に女性の人權

西谷 文和



2022年8月15日は、アフガニスタンがタリバン政権になってちょうど1年目の記念日だった。盛大な「勝利式典」でもするのかな、と思っていたがお祭りはない。表向きは「人が集まるとテロが起きる」という理由のようだが、実際は「誰も祝おうとしない」からだ。人々はタリバンに従っているが、裏ではひどく嫌っている。その理由は経済の暴落。良くも悪くも米軍は莫大な金を使って基地を作ったし、復興支援で道路やビルが建設されて、ある種の特需が続いていた。昨年その米軍が撤退し、通訳や建設業者、弁護士や医師など、有能な人材がいつせいに亡命してしまった。首都カブールの街には建設途中でストップしたビルがあちこちに林立している。主要な産業がなくなり、失業者が急増、街はタリバン兵と子どもの物乞いであふれている。さらには人口の半分を占める女性が働くことを禁じられ、外出もままならない。通行人は男性ばかりで、ざっと数えたところ外出している男女比は50対1くらい。富裕層が逃げたのでデパートはもちろん、カラオケ店やスポーツ用品店も閉店。「西欧的」な音楽やスポーツを楽しむよりお祈りしろ、ということだ。

宿泊したホテルの窓からタリバン兵の訓練を隠し撮り。この兵士たちには給料が出ているが学校の先生や病院の医師、看護師には出していない。アメリカを倒すために増員した兵士たちを解雇できず、これが財政を圧迫している。そして麻薬中毒者が激増した。仕事がなくヒマなので中毒者がカブール川の橋の下に集まり、ハシシーシ（アヘン）を吸っている。何しろアフガニスタンは世界のケシの90%を生産しているのだ。



カブール滞在中に女性たちのデモがあった。ブルカを被らずに顔を出して歩く。彼女たちが手にするプラカードには仕事、自由、食料とある。平和的なデモにタリバンが発砲する。蜘蛛の子を散らすように逃げるデモ参加者たち。幸い死者は出なかったが、現場で取材していたアメリカ人ジャーナリストが拘束された。戦争が残っていたも

の、それは軍隊と麻薬、そして女性への抑圧。もちろんタリバンにも罪がある。しかしもっと大きな罪は勝手に戦争を仕掛けて、勝手に撤退したアメリカではないか。そしてこの戦争に協力した日本の罪も問われ続けなければならない。

にしたに ふみかず
1960年京都市生まれ。立命館大学中退、大阪市立大学経済学部卒業。
吹田市役所勤務を経て、2004年末からフリージャーナリスト。主にイラク、アフガニスタン、シリア、南スーダンなど中東・アフリカ地域を取材し、テレビや新聞で現地情報を伝えている。今年2月にタリバン後のアフガニスタンを取材。2014年3月にウクライナのマイダン革命を取材。
テレビ朝日系列「報道ステーション」、朝日放送「キャスト」、ラジオ関西「ばんばんのラジオでショー」など出演多数。
2019年5月から「路上のラジオ」をネット配信。
著書に「自公の罪 維新の毒」「戦争はウソから始まる」（日本機関紙出版センター）「テロとの戦いを疑え」紛争地からの最新情報「西谷流地球の歩き方 上下」（かもがわ出版）などがある。



クリスマスメッセージ



「見えない愛と希望を繋ごう」

日本基督教団浪花教会 牧師 川江 亜希子



今年の春、小学2年生の娘が学校に行けなくなりました。その時、「自分の仕事を制限しなくてはいけない」という思いが強く、学校に行けない我が子に、それでも大丈夫だよと簡単に言っただけで、何となく自分がいた。それでも娘が休む度に、何度職場に連れて行くことができず、牧師という仕事のおかげかもしれない。しかし、住居のある長岡京市から大阪市までの往復の道のりは、幾度となく周りの視線が気になった。教会ではない職場に連れて行った時は、「子どもは連れて来ないで」と遠回しに言われてしまった。多くの子どもたちは学校に行けていないのに、比べてしまったことは数えきれない。現在は、不登校だった時期から少し抜け出して、多くの方々の支援と祈りのおかげで、何とか学校の支援教室に通ってくれる

ようになり、笑顔が増えた我が子がいる。クリスマスになると、イエス誕生物語の箇所を読む時が与えられる。マリアがヨセフとの関係がないにも関わらず、イエスを産む決断をしたこと、又、そのマリアを支えようとした時代だけ大変なことであったかを想像する。未婚の者が子を身籠ることは蔑まれ、差別される対象になることは知っていたはずだ。イエスはそんな二人のもとに生まれてきた。周りに助けてもらえる状況もなく、困難の道は目に見えている。しかし、そのような辛い立場に置かれた二人とイエスのもとに、羊飼いや博士たちが、お祝いをしに駆けつけた。それは、どれほど嬉しいことなのだろう。どれほど救われたと思うだろう。希望の命と共に、苦しさの中で助けてくださる友との出会



いが与えられる出来事なのだと改めて感じる。

シングルマザー、ワンオペ育児、DV被害、目には見えないところで、いわゆる「女性性」の苦しみは、聖書の時代から変わらない。性別問わず、社会の片隅に追いやられ弱くされてしまう人々がいる。人ひとりが当たり前に幸せだと実感できる社会からは、何とも遠い。しかしながら、苦しく弱くされている人のもとにこそ届くクリスマスの光は、心に希望を与えてくれる光であると信じていたい。その希望を絶やさないために、隣人を助けていく歩みが備えられている。とにもかくにも私自身「助けて」と言うことが苦手であったのだが、助けてくださる方々がいたから今がある。次は私の番だ。クリスマスが、どうか一人ひとりの希望の光あるいは愛となるように、歩みを進めていきたい。



天使の言葉



待降節が近づくと、月刊誌等で見かけるようになる絵画「受胎告知」には、マリアにイエスの誕生を告げる、翼をつけた天使ガブリエルが描かれています。私はマリアに寄り添うようなこの天使が好きです。聖誕劇ではガブリエルをやりたいと手を上げたものです。

昨年の千里クリスマス教会で、参加者一人ひとりに各々の天使の言葉が牧師から手渡されました。その場集った人たちは満たされて暖かい気持ちになりました。

マリアは天使ガブリエルによる神様からのお告げを「お言葉通りにこの身になりますように」と受け入れました。私たちも手渡された自分にぴったりの天使の言葉を、胸にたたんで歩むことが出来たかな。と一年を振り返っています。ちなみに私が授かった天使は「思慮の天使」でした。

(会員 末吉 佳世子)



YWCAフェスタ& ユースギャザリングに参加して

2022年11月26・27日

大阪YWCAのRUSV (Rise Up! School Visit) チームが「見た目で人を縛る「ルッキズム」」というテーマでテーマでYWCAフェスタの分科会に出展しました。ルッキズム、とは「外見に基づく差別」のことです。RUSVチームに所属するユースが主体となり、ルッキズムとは？ルッキズムとどのような向き合っていくか、についてオンラインと対面のハイブリッドでワークショップを行いました。テレビのバラエティ番組での外見いじり、「美人〇〇・イケメン〇〇」など、人を見た目で判断、評価する場面はよく目にすると思います。社会・人の「当たり前」に問いかけ、社会に変化を生むことは決して簡単なことではありません。90分という限られた時間でしたが、このワークショップを通して、参加者の皆さんの日常に少しでも「もやもや」が生まれたらいいなと思っています。その「もやもや」がやがて、仲間を呼び、声となり、少しずつでも社会変革に繋がると私は信じています。

また、翌日のユースギャザリングでは、皆の活動内容、YWCAと関わるようになったきっかけや、それぞれの悩みなど、全国のユースと対面で共有できたのが非常に嬉しかったです。YWCAがいつも大切にしている「セーフスペース」の考え方が私はとても好きで、ユースギャザリングの中で何度も感じられた「居場所」のような温かさが心地よかったです。場所は違っても、次また会う日までお互い頑張ろうね、と声を掛け合える「仲間」に出会わせてくれたこの機会にとっても感謝しています。

(職員 永嶋 里香)



わたしのイチオシ! 映画 「落下の王国」(2006)



撮影中の怪我で歩けなくなったスタントマンのロイは入院中に5歳の少女アレクサンドラと友達になる。自殺用の薬を取ってこさせるため、ロイは少女に壮大な物語を語って聞かせる。息を呑むような鮮やかな自然も、精緻な美しい宮殿もCGではなく4年の歳月をかけて撮られた実写だ。石岡瑛子の衣装がその光景に彩りを添える。この映画は世界は美しい、生きるに値すると感じさせてくれる。(会員 小澤 裕子)

YWCAの窓

沖縄と原発とシエルター

えつ、沖縄に原発あった？
いいえ、でも関連しています。
「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」メルマガ61号 シェルター1?それが助かる道ですか?と、三上智恵さんが訴えている。先島諸島に優先して避難シェルターを設置することが検討され始めた。軍民共同避難訓練まで計画されている。それは沖縄が米中の戦場になると認めたようなもの。台湾有事に備えて南西諸島に自衛隊基地を作る計画があり、米韓合同軍事演習が盛んになり、北朝鮮まで刺激している。宮古、八重山から奄美までの島々を軍事要塞化して戦争を食い止めようとするのか。米軍基地の集中する沖縄の150万住民に逃げ場はない。沖縄を二度と戦場にするな!戦争を回避する外交努力に全力を尽くせ!

と連日抗議しているが、本土のメディアに伝わることはあまりない。
一方政府は築40年の老朽原発を更に20年動かそうとしている。どんなに避難計画を練ろうともひとたび事故が起こればいかに深刻なものか思い知らされたばかりだ。
絶対に戦争は起こしてはならない!
老朽原発は動かしてはならない!
YWCAは平和を目指す団体として、100年以上も前から学び連帯し行動してきた。これからも微力を尽くしてできることは何でもしようと思う。

(会員 原 紀子)
*「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」については <http://nomore-okinawasen.org/> をご覧ください。

聖書の言葉

恵みと真理はイエスキリストを通して現れた。
いまだかつて、神を見た者ははいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。
(ヨハネによる福音書 1章17、18節)

未来へ——安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後ビル1階 TEL06-4964-8700

キリスト教葬儀に関する全てを承っております

株式会社 イースター式典社

☎0120-415-087 (24時間) ✉info@easter-net.co.jp
営業エリア:近畿2府4県・福井・三重・鳥取・岡山・徳島・香川
兵庫県尼崎市杭瀬本町1-2-5 グラシアスコート3F TEL 06-6415-6861 FAX 06-6415-6862
<http://www.easter-net.co.jp>

点字子ども図書室 贈呈式



「地域の学校で学ぶ視覚障がい児童生徒が使う教科書以外の教材を製作し、届ける事業」が「2022年度 日本郵便年賀寄付金配分事業」に採択され、12月5日に大阪YWCAシャロン千里にて「年賀寄付金贈呈式」が行われました。いただいた寄付金で「図形（点図）も打ち出せる点字印刷機」を11月に購入しました。

点字子ども図書室は児童書中心ですが、近年は教材の点訳依頼も受けています。印刷機が4月に壊れて困っていたところに今回寄付をいただき、とても助かりました。これから支援の必要な児童たち

のために末永く活動を続けていけることを願っています。
（文責 編集部）



このために末永く活動を続けていけることを願っています。
（文責 編集部）

日本語学科 卒業生

今こんなことしています

～世界各地で活躍している卒業生を紹介しています～



マ・ローリンさん 何 欣さん

1996年卒 何 欣さん（中国出身）

大阪YWCA専門学校卒業後、日本の大学に進学しました。現在、日本の企業で秘書として働いています。心から好き!と思える仕事なので、日々とてもやりがいを感じています。好きだからこそ意欲や興味を持って働けます。

娘のマ・ローリンも今、YWCAの日本語学科で楽しく学んでいます。

大阪YWCA クリスマスバザー

12月3日

12月3日、梅田本館にてクリスマスバザーを開催しました。一般の方が来場してのクリスマスバザーは3年ぶりのこととなります。みなさん大阪Yのクリスマスバザーを心待ちにしていたら並ばれたか、何時間も前から並ばれている方もいらつしやいました。

会員のみなさんもお買い物を楽しみだけでなく、久しぶりに顔を合わせることで、あちらこちらで旧交を温める姿が見られました。



11月運営委員会報告

【報告】 ▼女性エンパワメント 10 / 26 関西学院大学 Yを三田キャンパスで宣伝

▼梅田会員部 10 / 19、11 / 16 グループベジスリーブ

12 / 17 会員クリスマス会

▼千里委員会 12 / 14 千里クリスマス会 11 / 7 グッバイ認知症 ▼YM / YW 合同祈祷週集会 11 / 14

【協議】 ①定期会員集会について ②LA第3期について ③ワンワールドフェスティバル参加について

（文責 編集部）

ご協力ありがとうございます
〔22 / 10 / 1 ~ 11 / 30〕敬称略順不同
■賛助費
石井由佳子 越後 靖子 森口 清子
ジャクティニアニ 富士子 都木 直文
西 由香利 藤田 恭子 藤原裕美子
三澤 文子
大阪商工会議所
積水化学工業株式会社

寄付

日本語本科

谷川いつみ 森山 孝子

講座部

大畑 知子

梅田

コスモ建物管理株式会社

点字

点訳サークル シックスポイント

女性エンパワメント部

永嶋 里香

その他

片山 隼亮

募金

12口 74、486円

生きつらさ支援のための ソーシャルワークセミナー

「かけがえのないもの」を失うということの理解

2023年2月4日(土) 13時半～15時半

講師:米虫圭子

受講生募集中!詳しくはWebへ

<http://osaka.ywca.or.jp/leader/assist/assist2209.html>